

HLABサマースクール TOKYO2023

-Unleash the future-

1. 活動時期

:2023.8/14~8/21

5年7組 前田 紗希

House

教育「寮」の再現

HLAB

2. 参加のきっかけ

- ・できるだけ長期間英語漬けになりたい！と思っていたこと
- ・日本全国のみならず世界中の高校生と大学生が集まって一緒に活動するイベントだから

3. 参加した感想

①参加する前と後の変化

私は、英語の文法は苦手でもネイティブとの会話は好きだ、得意だ、と思ってこのサマースクールに参加したのですが、初日に初対面の海外大生と英語で話した時に言いたいことが全然伝わらなくて、本当に悔しい思いをしたのを覚えています。それから自分でも工夫をして最終的に、どの文化圏出身の人であれ、コミュニケーションをとるのに一つの方法にこだわる必要はなく、ジェスチャーでも絵でも色々な言語を混ぜたとしても、理解しあうことに意義がある、と感じました。

また、知り合いが1人もいなかったのも、思っていたよりもずっと「自分のことを説明して理解してもらおう」という状況が多かったです。別にそれは英語に限らず、自分が今まで育ってきた環境と180度違う高校生たちが集まる中で、自分自身を自分はどう説明できるのか、というのは自分をより知るという点でもいい経験でした。

②活動中の面白かったポイント

自分が選択したセミナー(大学生が自分の専攻分野を直接教えてくれるもの)が社会運動という結構難しいテーマで焦ったけど、最終的に現代のデモや環境問題についてディスカッションできるまでになったこと

行動班のように日中まとまって活動するハウス、というグループの中で、高校生という条件以外は英語力、出身、学年、何もかもバラバラな私たちが、最終日には別れを惜しんで皆で大泣きするくらい仲良くなったこと。

メンターとして活動していた大学生も一癖も二癖もある人たちばかりで、話を聞くだけで刺激をたくさん受けたこと。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

進路が決まってない、自分には誇れるものは何もないし……って思っている人ほど参加してほしい。英語を使うサマースクールなのはもちろんなのだけれど、それ以上にこれからの学生生活、社会人になった時まで残る「記憶」「仲間」「目標」ができることだと思います。英語力は不問なので、何でもいいから変わりたい！自分の殻を破りたい！と願う意志を持って飛び込んでみてください。絶対に楽しめると思います！

